



いのちのはじまり

子育てが未来をつくる

世界の子育て最前線！

すべての子供に、素晴らしい人生のスタートを。
それが平和で創造的な社会を築く一番の近道。
そのための子育ての方法は1つじゃない。
世界中、いろんな環境下での、
いろんな育児を見つめたドキュメンタリー。

監督：エステラ・ヘネル 制作：マリア・ファリナ・フィルムズ
提供：マリア・セシリア・ソート・ビジナル財団、バーナード・パン・リー財団、アラナ協会、ユニセフ
制作：アショカ、世界銀行グループ、UBSオプティマス財団、ジョンソンズ、ハギーズ、ナチュラ、
アミル、ボンボン、TAM プラジナル航空
配給・宣伝：アップリンク 協力：日本ユニセフ協会
(2016年/ブラジル/96分/カラー/16:9/DCP/原題：O Começo da Vida)

いろんな"家族"のかたち



血のつながりがなくても親子



祖父母にも役割がある



コミュニティで支え合う



世界の子育て最前線！ 子供たちの成長に本当に必要なものは？

人格の土台が形成される乳幼児期（生後～就学前）の脳では、毎秒700個から1000個もの神経細胞が新たに活性化しています。この神経細胞同士の接続によって脳は発達し、後の健康や精神的な幸福、学習能力が決定づけられます。



この成長でもっとも大切なのは、大人との触れあい。血のつながった“親”に限らずとも、周囲の大人が乳幼児に安全で愛情に満ちた環境を与えることができれば、より良い社会を創造する未来が開かれます。

乳幼児期の子供たちにとって、育つ環境だけでなく、周囲の人々とのかかわりの質と量が、その後の人生を左右するほど重要であることを伝えていきます。

この映画は、ブラジル出身のエステラ・ヘネル監督が9カ国のさまざまな家庭を訪問し子育ての今を撮影しました。

- ▶ 育休を経て職場復帰時期に悩む母親
- ▶ 専業主夫となり二人の男の子を育てている元研究者
- ▶ 好条件の転職と娘の通学送迎が折り合わず悩んだ末に決断を下した父親
- ▶ 養子をとって育児中の驚きや喜びを語る夫婦
- ▶ 子育て中のレズビアンカップル
- ▶ 娘夫婦に代わって孫の面倒をみている中国の祖父母
- ▶ ドラッグ中毒により子育てもままならない時期を経て立ち直った経緯を語る母親
- ▶ 両親を亡くし幼い兄弟の面倒をたった一人でみる少女など

さまざまな文化・民族・社会背景の子供たちの生き生きとした様子と、彼等を取り巻く大人のリアルな姿を映しだします。

さらに、児童心理学者、学習脳科学者、小児科医、精神分析医、経済学者、教師など様々な分野のスペシャリストたちのへのインタビューも多数収録。彼ら自身の経験と研究に基づいたメッセージが胸に迫ります。



入場無料

3月9日(土) ① 10:00～ ② 13:30～

琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」

● 託児あり - 当日受け付けいたします。午前、午後とも20分前までにお越しください。

● 託児お問い合わせ - 琴浦町教育委員会社会教育課 TEL 0858-52-1161

主催：鳥取県ユニセフ協会・琴浦町男女共同参画推進会議 後援：琴浦町・琴浦町教育委員会

お問い合わせ

鳥取県ユニセフ協会 TEL/FAX：0858-71-0970 Mail：unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp
〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内 【月・火・金 10～16時、水 10～12時】
琴浦町男女共同参画推進会議 TEL/090-1019-1183